

三十三銀行 2020年度の取組み

※各年度の数値は、旧三重銀行と旧第三銀行との合算値で算出しております。

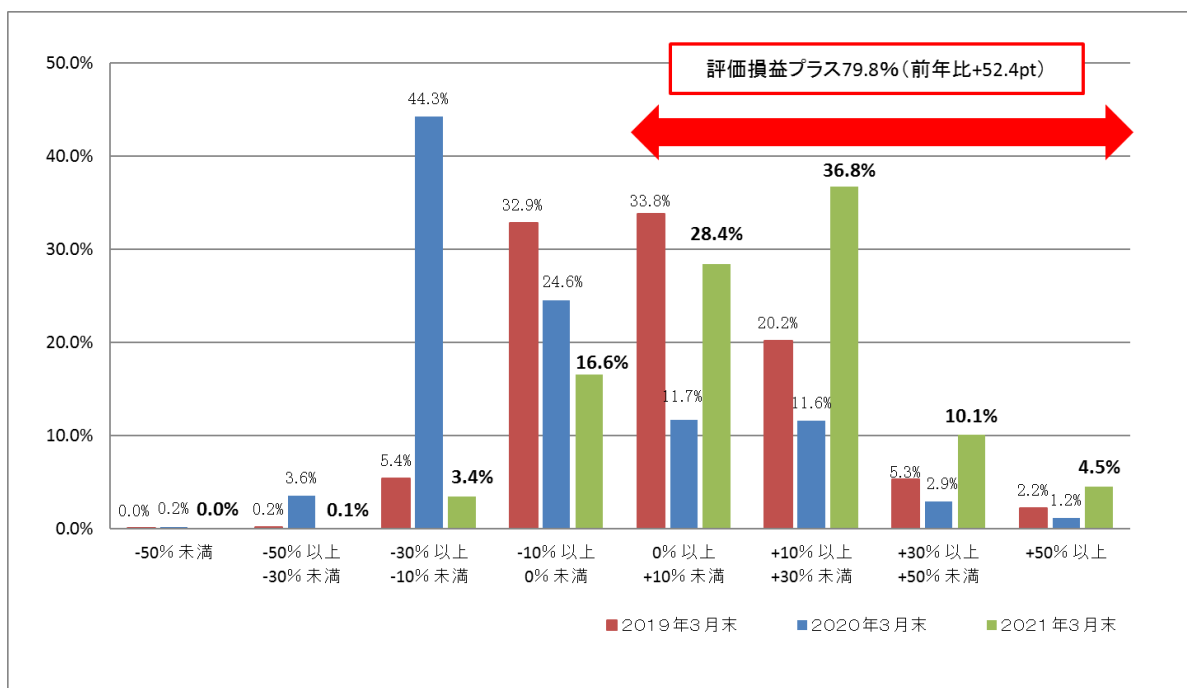
共通KPI

<投資信託の運用損益別顧客比率>

当行は、「お客さまの安定した資産形成の実現」がお客さまの最善の利益であり、「お客さま本位」の取組みが、銀行の安定した顧客基盤の形成と収益の確保につながるものと考えます。

以下のグラフは、お客さまにご購入いただいた投資信託の運用損益状況について、損益別にお客さまの比率をお示しています。

投資信託の運用損益がプラスのお客さまは、全体の79.8%と前年比+52.4pt増加しました。



※当行ではファンドラップの取扱いはありません。

<投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン>

お客さまにご購入いただいた投資信託の残高上位20銘柄について、コストに対するリターン、リスクに対するリターンをお示しています。

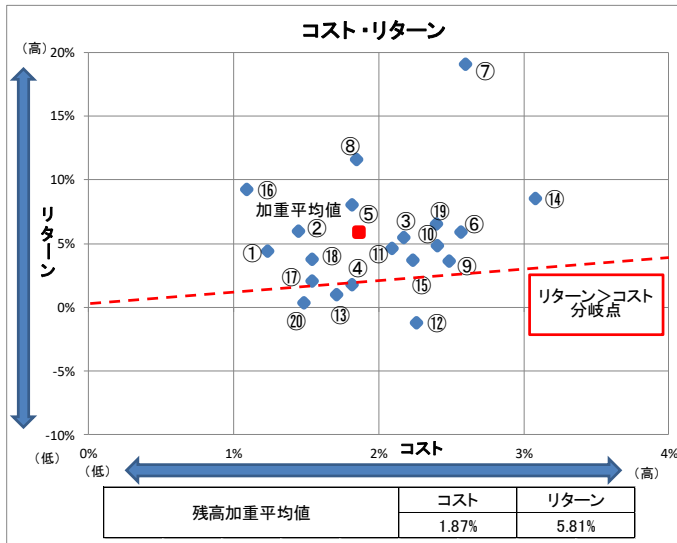
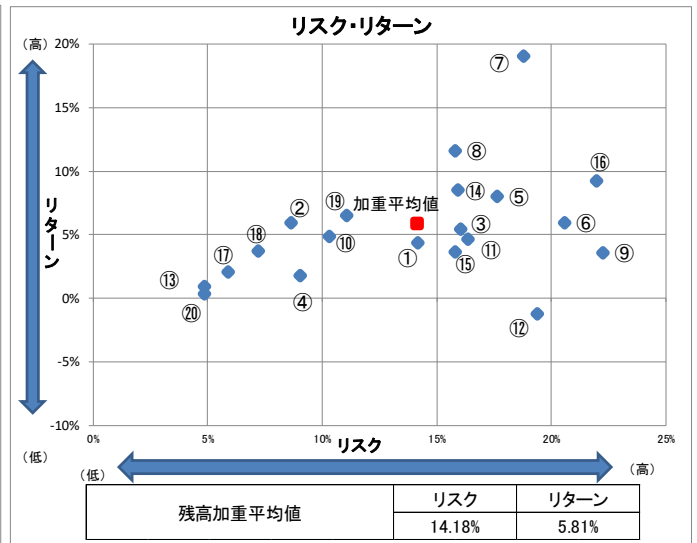
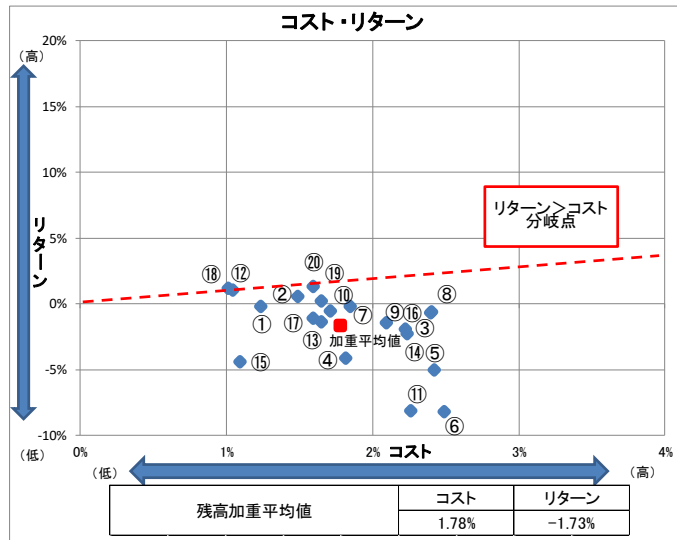
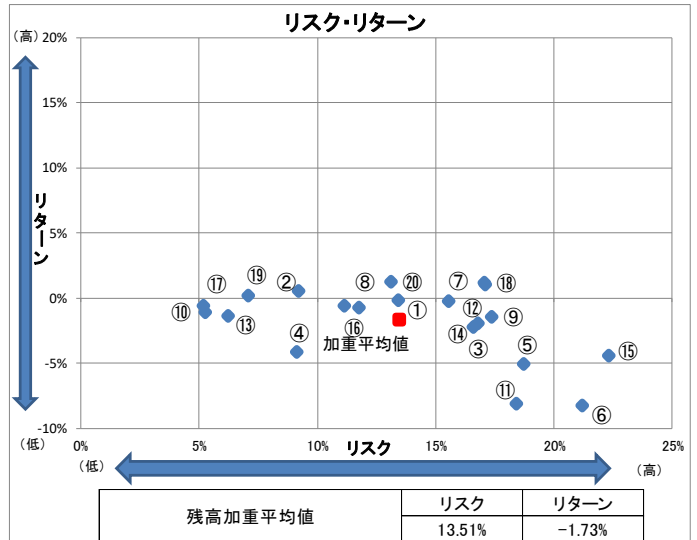
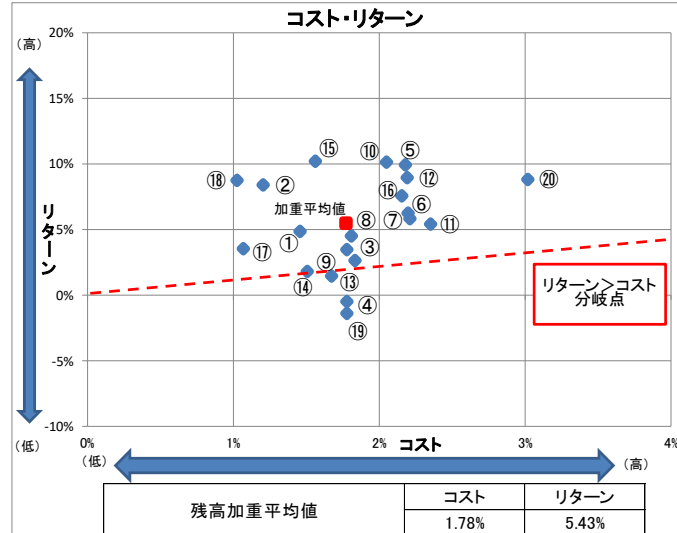
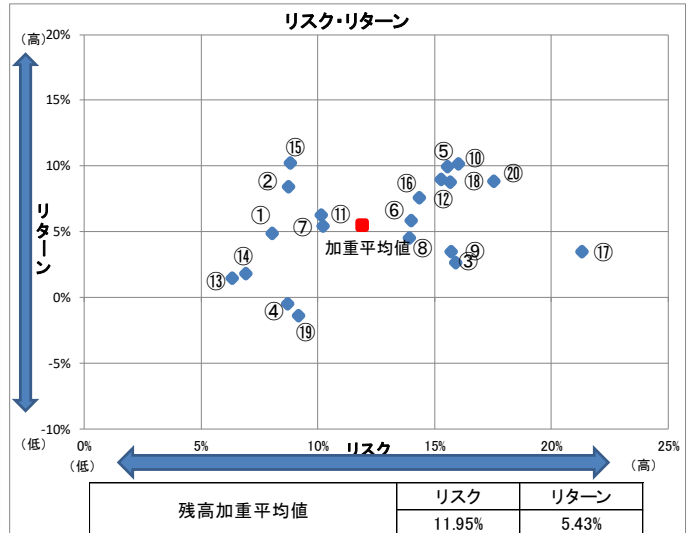
リターンがコストを上回った商品は、20銘柄中16銘柄になりました。リスク・リターンに関してははばらつきがありますが、お客さまのニーズやリスク許容度、資金の性格等を踏まえた提案を行ってまいりました。

※本共通KPIは、金融庁が公表した基準に基づき算出しております。

【対象銘柄】設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄(2021年3月末時点／対象銘柄は下に記載)

【コスト】基準日時点の販売手数料率(税込)の1/5と信託報酬率(同左)の合計値

【リスク】過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算) 【リターン】過去5年間のトータルリターン(年率換算)

【2021年3月末基準】
<コスト・リターン>

<リスク・リターン>

【2020年3月末基準】
<コスト・リターン>

<リスク・リターン>

【2019年3月末基準】
<コスト・リターン>

<リスク・リターン>


<預り残高上位20銘柄>

【2021年3月末基準】

NO.	ファンド名	コスト	リスク	リターン	NO.	ファンド名	コスト	リスク	リターン
①	ダイワJ-REITオープン（毎月分配型）	1.23	14.18	4.41	⑪	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.09	16.38	4.65
②	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.45	8.66	5.95	⑫	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26	19.38	▲ 1.18
③	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース[為替ヘッジなし]	2.17	16.06	5.50	⑬	グローバル・ソブリン・オープン（3ヶ月決算型）	1.71	4.87	0.96
④	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	1.82	9.03	1.79	⑭	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08	15.93	8.55
⑤	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	1.82	17.65	8.03	⑮	新光US-REITオープン	2.23	15.83	3.70
⑥	インベスコ世界厳選株式オープン（為替ヘッジなし）（毎月決算型）	2.56	20.58	5.94	⑯	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	1.09	22.00	9.24
⑦	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	2.60	18.81	19.06	⑰	バン・パシフィック外国債券オープン	1.54	5.91	2.08
⑧	グローバル好配当株オープン	1.85	15.80	11.63	⑱	三重県応援ファンド	1.54	7.23	3.74
⑨	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）	2.49	22.25	3.63	⑲	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.40	11.06	6.53
⑩	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	2.40	10.32	4.86	⑳	ワールド・ソブリンインカム	1.49	4.85	0.36

【2020年3月末基準】

NO.	ファンド名	コスト	リスク	リターン	NO.	ファンド名	コスト	リスク	リターン
①	ダイワJ-REITオープン（毎月分配型）	1.23	13.42	▲ 0.16	⑪	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26	18.40	▲ 8.10
②	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49	9.21	0.54	⑫	MHAM株式インデックスファンド225	1.05	17.08	1.08
③	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.22	16.77	▲ 1.93	⑬	バン・パシフィック外国債券オープン	1.65	6.22	▲ 1.35
④	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	1.82	9.11	▲ 4.15	⑭	新光US-REIT オープン	2.23	16.59	▲ 2.24
⑤	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.42	18.73	▲ 5.02	⑮	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	1.09	22.31	▲ 4.40
⑥	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）	2.49	21.19	▲ 8.20	⑯	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.40	11.74	▲ 0.71
⑦	グローバル好配当株オープン	1.85	15.56	▲ 0.20	⑰	ワールド・ソブリンインカム	1.60	5.26	▲ 1.07
⑧	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	2.40	11.15	▲ 0.60	⑱	ストックインデックスファンド225	1.01	17.07	1.20
⑨	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.09	17.37	▲ 1.43	⑲	三重県応援ファンド	1.65	7.09	0.19
⑩	グローバル・ソブリン・オープン（3ヶ月決算型）	1.71	5.19	▲ 0.56	⑳	フィデリティ・Jリート・アクティブ・ファンド	1.60	13.10	1.30

【2019年3月末基準】

順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン	順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
①	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.46	8.05	4.90	⑪	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.35	10.23	5.44
②	ダイワJ-REITオープン（毎月分配型）	1.21	8.76	8.41	⑫	新光 US-REIT オープン	2.19	15.30	8.98
③	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	1.78	15.73	3.46	⑬	グローバル・ソブリン・オープン（3ヶ月決算型）	1.67	6.35	1.49
④	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	1.78	8.72	▲ 0.46	⑭	バン・パシフィック外国債券オープン	1.51	6.94	1.84
⑤	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.18	15.56	9.96	⑮	フィデリティ・Jリート・アクティブ・ファンド	1.57	8.81	10.24
⑥	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.21	13.99	5.87	⑯	ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）	2.16	14.34	7.57
⑦	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	2.20	10.16	4.56	⑰	トヨタグループ株式ファンド	1.07	21.30	3.52
⑧	グローバル好配当株オープン	1.81	13.94	2.63	⑱	MHAM株式インデックスファンド225	1.03	15.68	8.75
⑨	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）	1.84	15.92	10.18	⑲	ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型）	1.78	9.20	▲ 1.37
⑩	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.05	16.02	6.26	⑳	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.02	17.56	6.26

自主的KPI

<当行ラインアップ>

お客さまの安定的な資産形成の実現、ならびにお客さまの多様なニーズにもお応えできるよう、基本方針にもとづきラインアップの充実に努めた結果、以下のとおりとなっています。

※新規購入可能な商品のみを記載しています。

◆投資信託

カテゴリー		取扱い本数
国内	債券	5
	株式	20
	REIT	5
	その他	0
海外	債券	36
	先進国	19
	新興国	8
	ハイイールド	9
	株式	54
	先進国	47
	新興国	7
REIT	15	
バランス		24
その他		2
合計		161

※うちノーロードファンド39本

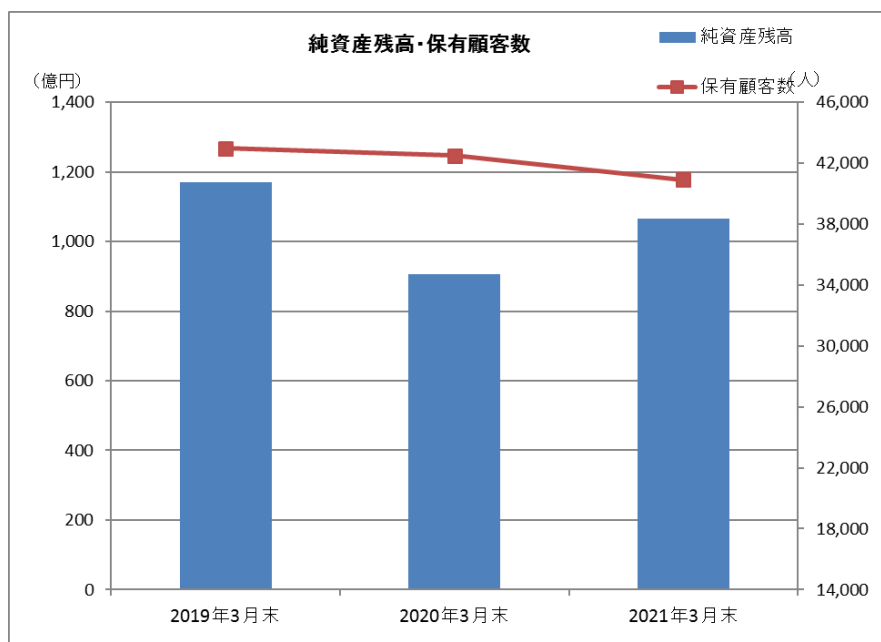
◆生命保険(個人向け)

カテゴリー		取扱い本数
変額個人年金保険		3
	うち円貨	0
	うち外貨	3
定額個人年金保険		8
	うち円貨	3
	うち外貨	5
一時払終身保険		24
	うち円貨	9
	うち外貨	15
平準払終身保険		7
	うち円貨	4
	うち外貨	3
養老保険		1
医療保険、認知症保険		11
がん保険		3
収入保障保険、定期保険		2
合計		59

※ほけんの窓口専用商品を除く

<投資信託純資産残高・保有顧客数>

お客さまの安定的な資産形成のお役に立てるよう、投資信託のご提案に取り組んでおります。2021年3月末について、保有顧客数は、「合併準備にかかる特定口座重複解消」の影響もあり、やや減少したものの、純資産残高は増加しました。「お客さま本位」の取り組みを通じてお客さまにご満足いただくことで、お客さまにお選びいただける銀行であり続けられるよう努めてまいります。



<販売額上位ファンド>

お客様のニーズやリスク許容度、資金の性格等を踏まえて提案いたしました結果、毎月分配型以外のファンドの販売が増加しました。

順位	2020年度実績	分配頻度	販売手数料率 (上限/税抜)	順位	2019年度実績	分配頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド	年1回	3.0%	1	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月	2.0%
2	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月	2.0%	2	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース (為替ヘッジなし)	毎月	2.5%
3	インベスコ世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	毎月	3.0%	3	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	毎月	3.0%
4	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	年2回	3.0%	4	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド(THE 5G)	年1回	3.0%
5	FANG+インデックス・オープン	年1回	2.0%	5	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式) (毎月分配型)	毎月	2.0%
6	次世代通信関連世界株式戦略ファンド	年1回	3.0%	6	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	毎月	3.0%
7	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	年2回	3.0%	7	ストックインデックスファンド225	年1回	2.0%
8	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース (為替ヘッジなし)	毎月	2.5%	8	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	年1回	1.5%
9	グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)	年6回	3.0%	9	グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)	年6回	3.0%
10	グローバル・フィンテック株式ファンド(年2回決算型)	年2回	3.0%	10	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	毎月	3.0%

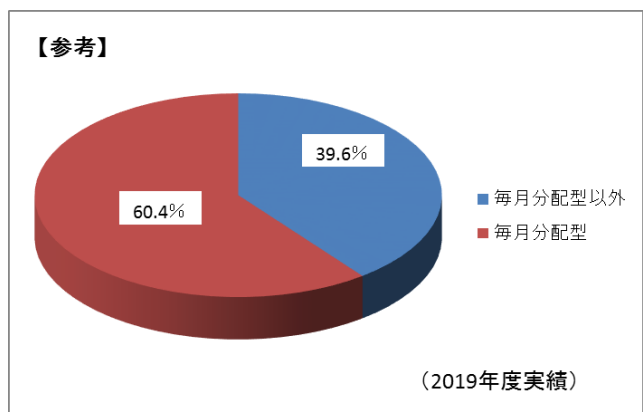
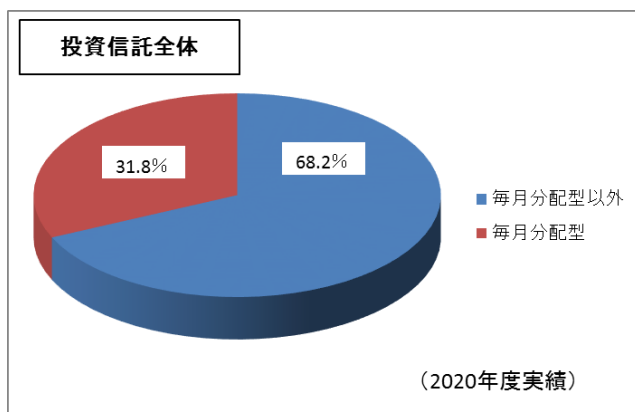
<積立契約件数上位ファンド>

長期積立分散投資の推進により、引続きバランス型ファンドやつみたて NISA 専用ファンドが上位にランクインしています。

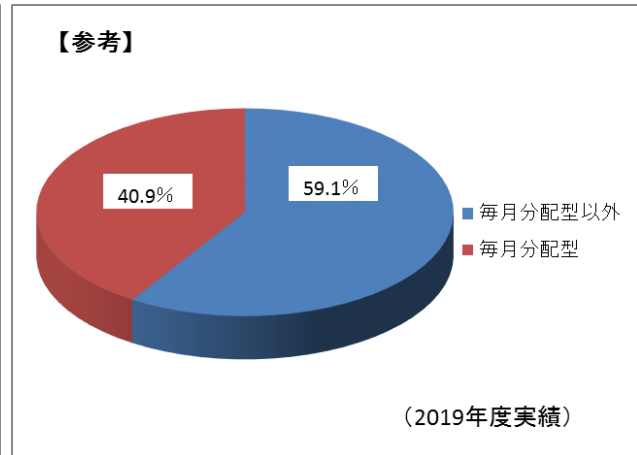
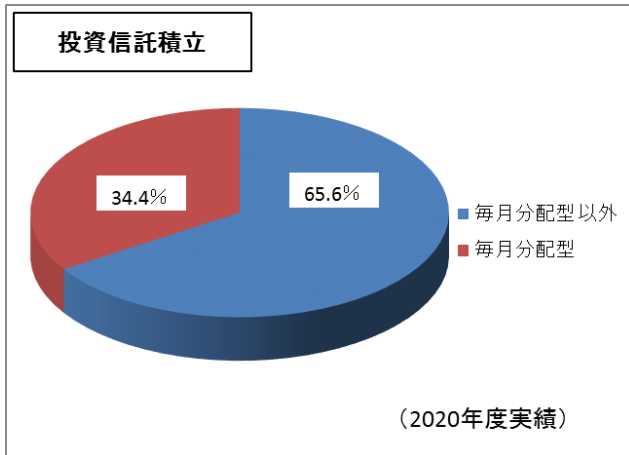
順位	2020年度実績	分配頻度	販売手数料率 (上限/税抜)	順位	2019年度実績	分配頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式) (毎月分配型)	毎月	2.0%	1	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式) (毎月分配型)	毎月	2.0%
2	【つみたてNISA専用】 たわらノーロード日経225	年1回	ノーロード	2	MHAM株式インデックスファンド225	年1回	2.0%
3	【つみたてNISA専用】 たわらノーロードバランス(8資産均等型)	年1回	ノーロード	3	【つみたてNISA専用】 たわらノーロードバランス(8資産均等型)	年1回	ノーロード
4	MHAM株式インデックスファンド225	年1回	2.0%	4	【つみたてNISA専用】 たわらノーロード日経225	年1回	ノーロード
5	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月	2.0%	5	トレンド・アロケーション・オープン	年1回	2.0%
6	【つみたてNISA専用】 たわらノーロード先進国株式	年1回	ノーロード	6	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月	2.0%
7	トレンド・アロケーション・オープン	年1回	2.0%	7	ストックインデックスファンド225	年1回	2.0%
8	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	年1回	1.5%	8	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン (毎月分配型)	毎月	2.0%
9	ストックインデックスファンド225	年1回	2.0%	9	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	年1回	1.5%
10	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	年1回	3.0%	10	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	年1回	3.0%

<毎月分配型投資信託販売比率 (金額ベース)>

投資信託全体および投資信託積立において、長期投資の観点から、お客様に安定的な資産形成にふさわしい商品の案内に努めた結果、毎月分配型の販売比率が減少しました。

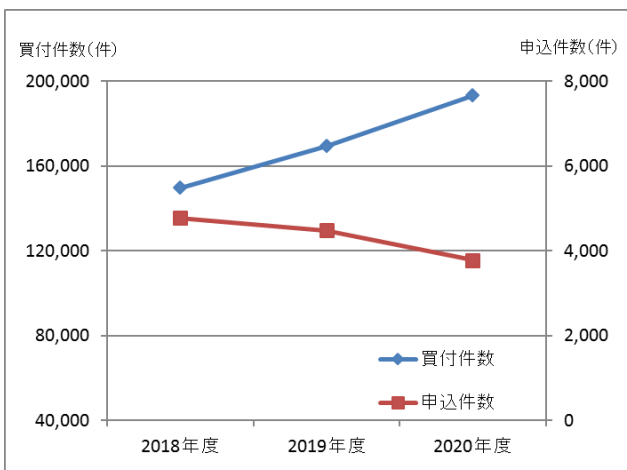


＜毎月分配型投資信託販売比率 うち投資信託積立／金額ベース＞



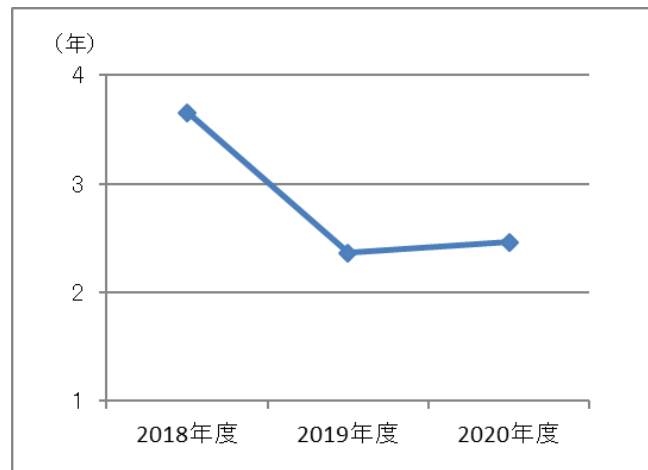
＜投資信託積立 買付件数／申込件数＞

長期積立分散投資の推奨により、投資信託積立の買付件数は着実に増加しています。



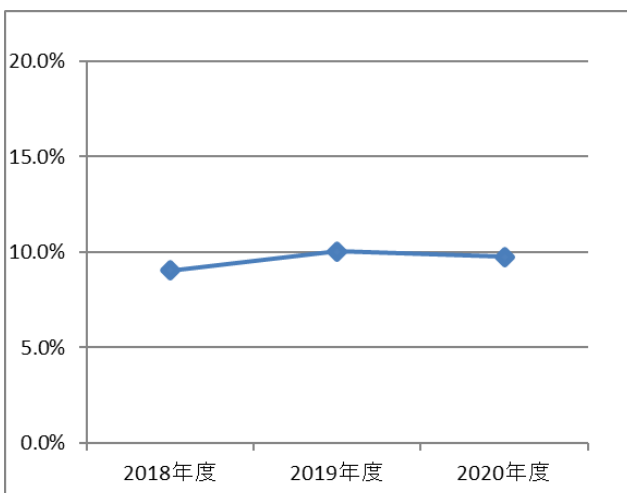
＜投資信託平均保有期間＞

「投資信託純資産平均残高÷解約額」にて算出しています。投資信託平均保有期間は昨年度比横ばいとなりました。



＜投資信託純資産平均残高に対する分配金の割合＞

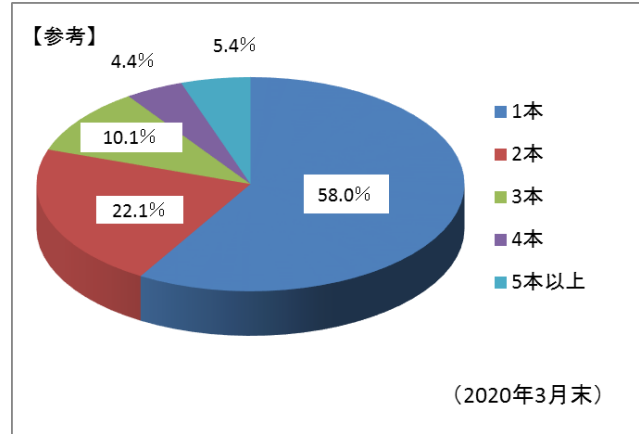
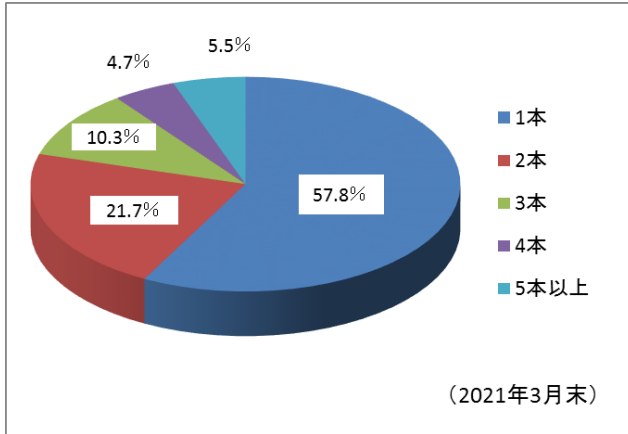
毎月分配型以外の投資信託の販売割合が増加しましたが、純資産平均残高の減少もあり、分配金の割合はほぼ横ばいとなっています。



＜投資信託 複数銘柄保有顧客比率＞

投資信託を保有されているお客さまの保有銘柄数別の比率をお示しています。

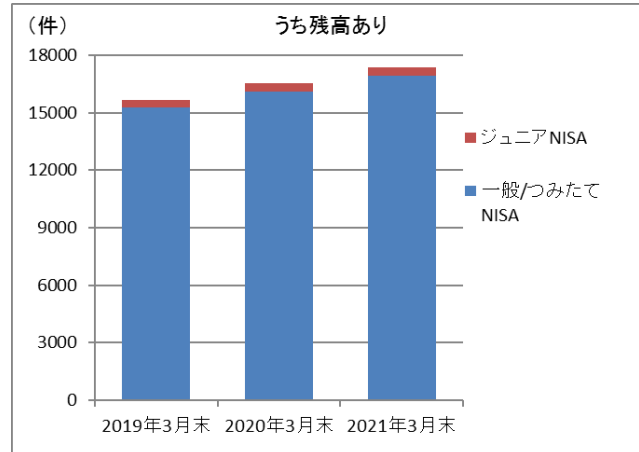
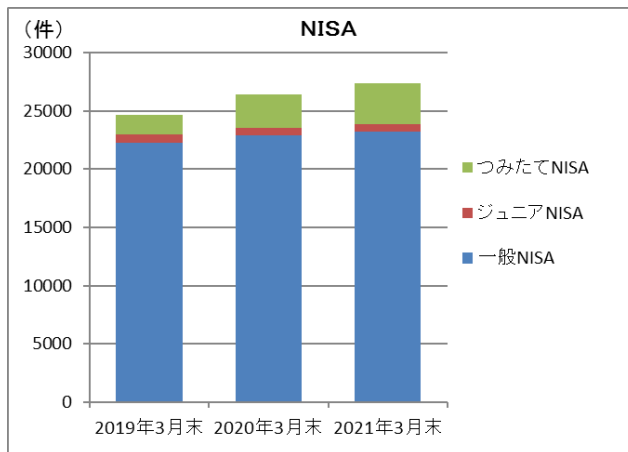
前年比横ばいとなっており、引続きお客さまの安定的な資産形成に資するよう、複数銘柄の保有による分散投資のご提案を推進いたします。



＜NISA 口座数／うち残高あり口座数＞

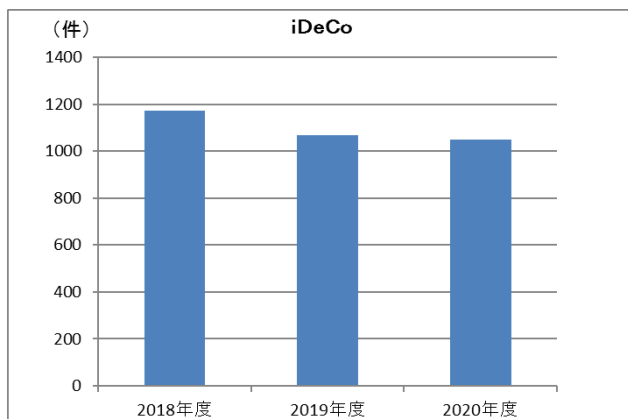
税制面の優遇がある制度として、NISA・i DeCoを推奨しています。

NISAについては口座数および稼働口座数が堅調に推移しています。



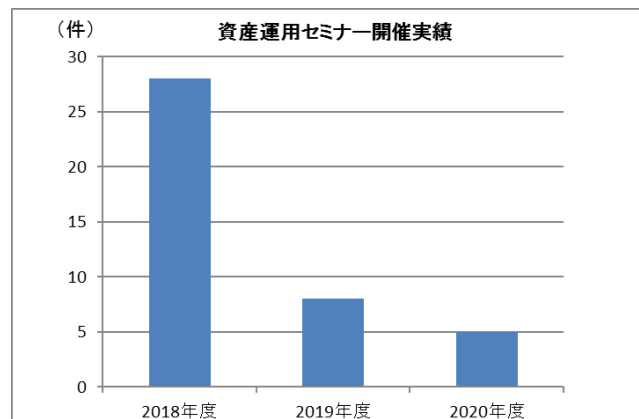
＜iDeCo 受付件数＞

i DeCoの受付件数については前年比横ばいとなりました。



＜資産運用セミナー開催実績＞

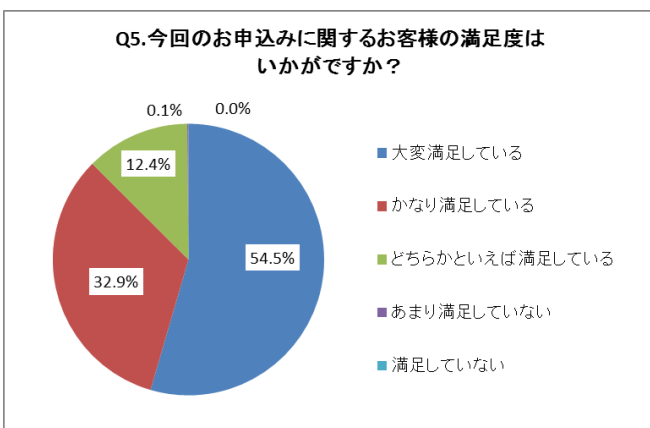
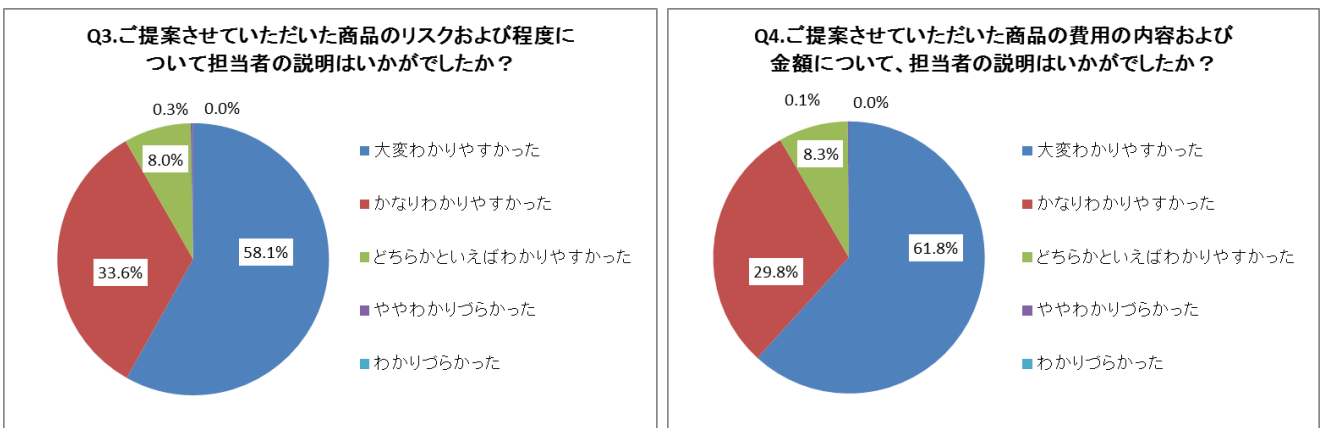
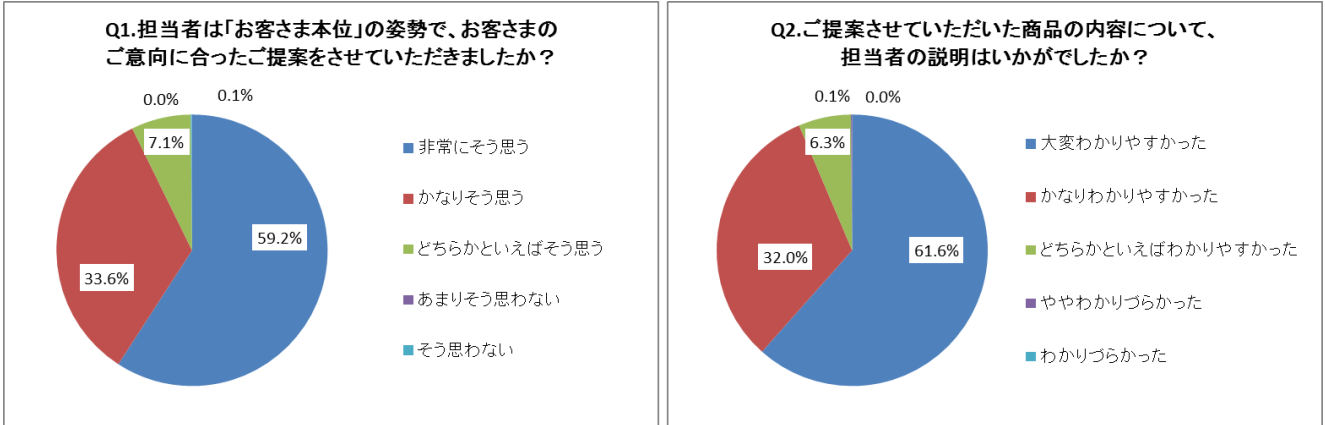
新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、開催回数は減少したものの、WEBを活用するなど工夫しながら開催いたしました。



<お客さまアンケート結果>

当行の金融商品販売が「お客さま本位」であるかを検証するため、金融商品を購入していただいたお客さまにアンケートを実施しており、結果については概ね良好となっています。

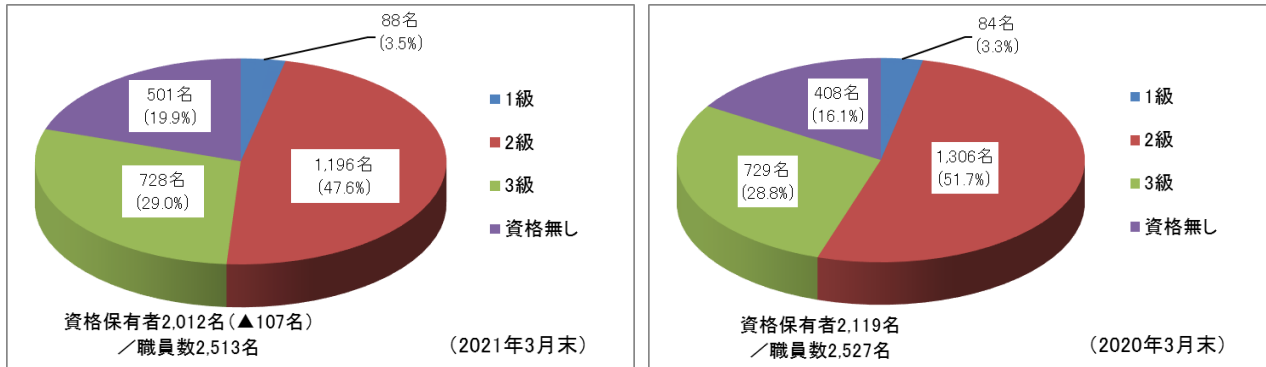
今後もお客さまに選ばれる銀行であり続けられるよう、引き続き「お客さま本位」の金融商品販売を実践いたします。



＜ファイナンシャルプランニング技能士 資格保有者数＞

コンサルティング能力および商品知識、金融経済に関する知識等は職員に求められるスキルの最重要なものとして位置づけ、より質の高い提案を行うため、ファイナンシャルプランニング技能士資格取得を励行しています。

資格保有者数については、引続き高い水準を維持しています。



以 上